



おおぐち しろう
大口司郎 議員

Shiro Oguchi



Q.とよやまタウンバス運行見直しは A.必要に応じ検討していく

12月定例会

質疑あれこれ

委員会視察

一般質問

平成14年から運行を始め、16年が経過した。その中で地域公共交通に対し、多くの方々の意見集約により、さまざまな点で見直しがされた。利用者のニーズは無限度と考察する。空港一元化以前より財政的に良い状況の中、必要な税の支出配分こそが、まさしく住民サービスそのものだと考える。

豊山町第5次総合計画策定を踏まえ尋ねる。

Q きたバス、こまき巡回バスとのジョイント運行は。

A 産業建設部長
両バスとの連携は、双方が持つ路線を有効に活用する意味では意義深いものと考えている。現在、こまき巡回バスとは、小牧市民病院、小牧市役所、小牧市武道館北のバス停で既に接続しており、乗り継ぎができるので、今以上の連携は予定していない。

きたバスについては、乗り継ぎを前提としたバス停は設置していないが、公共交通網の拡充につながるものと考えている。将来的な課題と捉え、必要があれば乗り継ぎのバス停整備やダイヤ調整など北名古屋市へ働き掛けたいと考えている。

Q 医療機関を巡回する運行は。

A 産業建設部長
タウンバスの現行ルートでも町内の各医療機関の近くまで行くことができる。町外の医療機関についても、国立病院機構名古屋医療センターと小牧市民病院の公立病院へ行ける。名鉄バス、あおい交通バスも含めると、済衆館病院をはじめとする多方面の医療機関へ行くことも可能で、一定程度の医療機関を網羅しているものと考えている。今後、ルート変更を見る。

直す中で、立寄り可能な医療機関について検討していきたい。

Q あおい交通バスが運行中の勝川駅行の青山経由設定は。

A 産業建設部長
勝川駅へ向かうバス路線は、県営名古屋空港と勝川駅を結ぶ最短ルートであり、バス停についても効果的に利用が見込める場所を厳選して設置していると考えている。青山経由ルートへの変更

は、逆方向で相当な時間のロスが発生し、それに見合う利用者が見込めないなどの理由から、可能性は低いと思われる。

Q 平日運行以外の時間帯および運転回数の見直しは。

A 産業建設部長
土曜・休日のダイヤ変更は、通勤・通学での利用がなく、平日並みのダイヤ変更は相当な費用が発生する事などにより、慎重に対応したい。



▲ジョイント運行の実現を